



# HIROSHI ヒロシ・ピアノライヴ PIANO LIVE 2003

右手で演歌、左手でクラシック

従来の堅苦しいピアノ音楽会のイメージを打ち破る、ユニークでエンターテインメント性の高いライブをお届けします。

HIROSHI PIANO LIVE 2003

とき 2月9日(日)午後3時開演

ところ サンホール

入場料 前売り大人2,000円 高校生以下1,000円

(当日各500円増、全自由席)

年齢にかかわらず、すべての方に入場券が必要です。



## 他館の催し

ファミリー映画館 「名探偵コナン」

とき 1月13日(月・祝) 午前10時~  
午後2時~

ところ 瑞浪市総合文化センター(☎685281)

入場料 400円(全自由席)

5歳以下は無料

「もしも」「まさか」のあなたを守る  
救急・消防最前線

市消防本部  
☎(53)0123

VOL. 8

消防は「早く早く」が  
特効薬

一刻も早く現場に向かうカギ！  
それは一一九番通報

近年の災害状況は、松本サリン事件や新宿歌舞伎町で発生した雑居ビル火災など、都市化の進展や生活様式の多様化などにより、複雑化・大規模化する傾向を一層強めています。

市内で平成十三年度中に発生した災害状況については、火災四十七件、救急千六百二

### 一一九番通報で、通信係員が知りたい情報

災害の種類

火災・救急・救助など

発生場所

町名・字名など

通報者およびけが人などの氏名

電話番号

通報時使用している電話番号

その他の状況

火災は何か燃えている

か、逃げ遅れの有無など

救急・救助は意識、呼吸、脈の有無、けが人の数



十一件、救助二十七件でした。これは、約五時間に一件の割合で災害が発生していることになり、市民の約三十八人に一人が一一九番通報をしていることになりました。

現在、消防署では市内全域の一般電話や公衆電話からの一一九番通報を、北消防署通信指令室で受信し、そこから各署所に出動指令を出すという体制を取っています。

最近では、携帯電話の普及

に伴い、携帯電話による一一九番通報が増加しています。

市内で携帯電話から一一九番通報をすると、どこにつながるのか、ご存知ですか？

東濃地方での携帯電話による一一九番通報は、多治見市消防本部で受信し、その発生場所に応じて、各消防本部に転送されます。

いざ災害を目の前にすると、普段あたり前のように言えることでも、気が動転してパニック状態に陥り、言えなくなってしまう。

いざという時に備え、住所・氏名・電話番号などを書いたメモを電話機付近に備えておきましょう。

救急病院案内サービスは  
専用電話 ☎53799

消防に関するご意見、ご質問は、

北消防署 ☎530119

南消防署 ☎570119

濃南分駐所 ☎520119

へどうぞ。

下石小学校附属幼稚園

『出会い、ふれあい、育ちあい』

土岐紅陵高校保育科の生徒さんとの交流

年に一回、二日間の交流で

すが、子どもたちにとって貴重な経験になっています。

- ・手づくり玩具を持ってきて遊びを提供し、優しくか接してくれる生徒さんに、安心して甘え、話しかけていました。
- ・歌やリズム遊びなど、一緒に楽しんでみました。
- ・給食と一緒に食べ、よりいっそう親しくなれました。
- ・文化祭の演劇を観せていただき、目を輝かせていました。

地域の方を講師に陶芸教室

初めて土粘土に触れての作陶です。物づくりの楽しさを味わいます。

地域の行事への参加

子どもたちにとって、さまざまな人のかかわりは、自分らしさを出し、心を育てる大切な場であると考えます。今後も、こうしたワクワク

する楽しい活動を、子どもたちに体験させていきたいと思



妻木小学校附属幼稚園

『豊かな体験を通じた保育活動』

当園では、さまざまな体験活動を年間行事に取り入れ、実体験を通して活動の楽しさを体で感じ、個々の成長につなげています。

今年の秋には『流鏑馬』の行事に取り組みました。地域の方から妻木城の話聞き、親子で製作したよろいを身に付け、よらい武者行列に参列

し、八幡神社の参道を厳かに歩くという貴重な体験をしました。

この体験から、自分たちの生まれ育つ町への誇りと愛着心が、園児の心に芽生えたとくに思います。

そのほか、お楽しみ所への訪問、老人会との交流、デイサービスの利用者の方とのふれあい活動など、お年寄りとの交流の中で、相手の方への気遣いや優しい言葉掛けが自然体でできるようになってきました。今後も子どもたちの心を揺さぶるような体験を通じた保育活動を進めていきたいと考えています。



悩んでいませんか？

～ファミリーカウンセラーがアドバイス～

Vol. 20

夫婦にかかわる悩みごと  
ギャンブル依存



夫のA男は、中間管理職になったころから、“かけマージャン”にのめり込み、最近はサラ金にまで手を出しているようです。このままでは家庭生活が破たんし、とんでもないことになるのでは、と心配です。夫は「負けを取り返したらやめる」と言っていますが、どうしたらいいのでしょうか。



責めるのは逆効果  
生活モードの切り替えを

おそらくA男さんは、会社でのストレスをマージャンで発散していたのでしょう。それがいつしか負

け越してしまい、引くに引けない状況に追い込まれてしまったのではないかと思います。

確かに、このままでは生活の破たんは目に見えています。つい、「しっかりしてよ！」などと相手を責めなくなるかもしれません。

しかし、それでは一向に解決にならないばかりか、A男さんは一発逆転を狙って、ますます深みにはまり込むことにもなりかねません。

そうした悪循環を断つ上からも、ここは思い切って生活のモードを切り替えることが必要です。

例えば、あなたのほうからA男さんを地域の文化サークルやスポーツ施設などに連れ出してみたいかがでしょう。家族旅行を企画してみるのも一案です。いわば、A男さんがはまり込んでいる「ギャンブルの世界」から強引に連れ出す試みです。

もちろん、その前に借金はきちんと精算しておきましょう。

(カウンセラー・会田芳敬)